

あさひむら **議会だより**

2018.4.27



さあ入学式だ！希望と決意と緊張の新一年生（朝日小学校）



目次

- 3月定例会概要 2
- 議会の決議事項の概要 3
- 総務産業常任委員会報告 5
- 議案と議決結果 6
- 一般質問 ここが知りたい 7
- 四団体懇話会／各区の懇話会報告／行政視察報告 11
- 議会活動日誌／村民の声／編集後記 12

「議会だより」第28号 発行日／2018年4月27日

発行／朝日村議会 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字古見1555-1 TEL 0263-99-2001(代) FAX 0263-99-2745
印刷／川越印刷株式会社 Eメール gikai@vill.asahi.nagano.jp

3月定例会概要

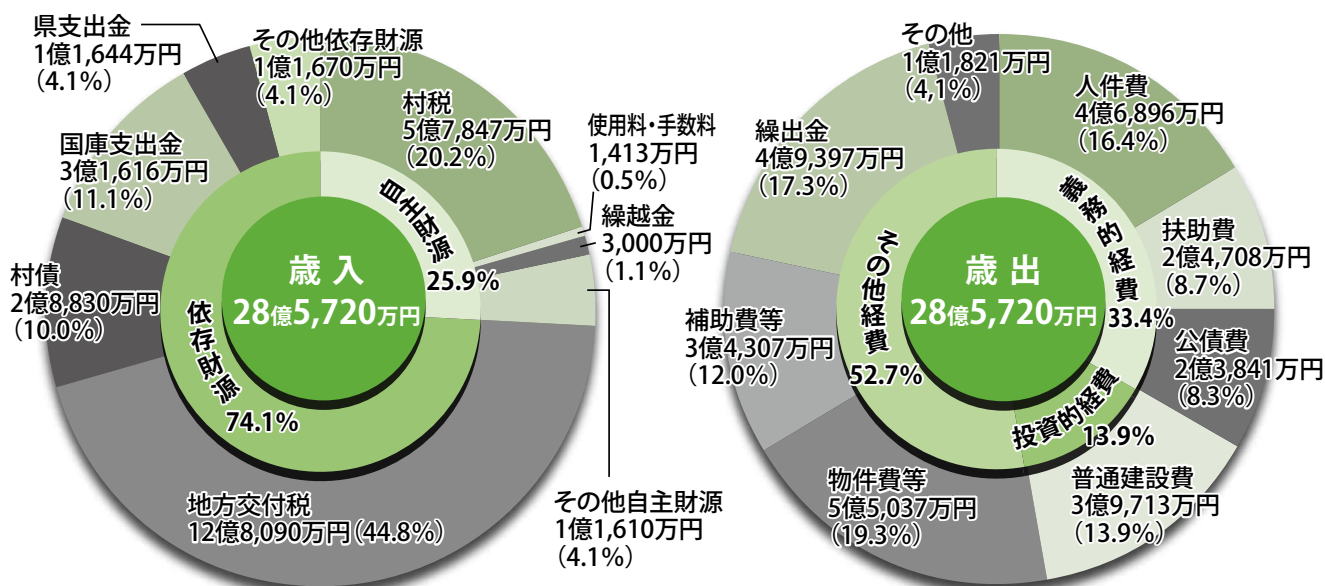
3月定例会は3月2日に開会し、20日まで19日間の会期で開かれました。主として、平成30年度一般会計予算と6つの特別会計予算案のほか平成29年度補正予算案に38議案を審査しました。議員より議案21号及び議案24号の議案に対し、質疑・修正動議が提出される他議案25及び議案32号に対し修正動議が提出されました。採決の結果、全件当初の原案通り可決しました。

平成30年度一般会計予算は歳入・歳出共に28億5,720万円。6つの特別会計予算は歳入・歳出共に15億8,815万円となり、又、請願陳情は1件提出され総務産業常任委員会付託となり、趣旨採択となりました。一般質問は8名が登壇し村政及び30年度予算について質問をしました。

平成30年度

予算概要 予算案を可決!

平成30年度一般会計予算 **28億5,720万円** (前年比29.5%減)



平成30年度一般会計予算は、新庁舎建設事業が完了したことから、投資的事業が前年度より大幅減額となりました。このことにより、平成30年度一般会計予算額は28億5,720万円となり前年対比：29.5%の減となりました。

〔平成29年度〕一般会計補正予算(議案25号)

年度末による各種事業確定に伴い、事業費の精査を行い歳入・歳出+4億4,859万円を追加し、平成29年度予算を48億7,536万としました。30年度への繰越明許は土木費・辺地債事業である向陽台連絡道路整備事業で2億1,200万円。新庁舎建設事業に伴い、新庁舎家具備品納入事業で7,300万円及び新庁舎情報基盤整備事業で2,200万円。新庁舎防災無線関連工事に1,470万円が主だった繰り越し事業費となりました。

〔平成30年度〕一般会計予算主項目

- ① **投資的経費**
 - ※小学校トイレ改修工事事業 1億1,990万円
 - ※村道古見57号線道路改修工事事業 8,100万円
 - ※向陽台連絡通路整備事業 1,700万円
 - ※中俣沢檜俣沢林道路側擁壁改良事業 3,164万円
 - ※西洗馬53号線路肩整備事業 730万円
 - ※防火水槽設置工事事業(4か所) 2,500万円
- ② **人口増加対策関連費**
 - ※交流拠点施設整備事業 5,310万円
- ③ **朝日村開村130年記念イベント運営事業費** 2,541万円
- ④ **プレミアム商品券発行事業** 1,300万円
- ⑤ **障がい者自立支援給付費** 1億946万円

議会の議決事項の概要

議案審議の焦点

～ご意見・要望は下記議会事務局まで～
E-mail gikai@vill.asahi.nagano.jp

平成30年朝日村議会第一回臨時議会が平成30年2月5日開かれました。
今臨時議会の議案は財産の取得一件でした。

平成30年朝日村議会 第1回臨時議会 (平成30年2月)

◆議案第1号

○財産取得について
新庁舎什器一式

取得価格 6,048万円

(賛成多数可決)

平成30年朝日村議会3月定例会が平成30年3月2日より3月20日まで開かれました。(19日間)

今議会の議案は条例18件工事請負契約の変更1件辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定1件、規約の変更1件、村道路線の認定1件、指定管理者の指定1件、予算14件、発議1件の計38件でした。

平成30年朝日村議会 3月定例会 (平成30年3月)

◆議案第2号

- 朝日村電気自動車等用充電器の設置及び運用に関する条例の制定について
(全員賛成可決)
- ◆議案第3号
○朝日村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
(全員賛成可決)
- ◆議案第4号
○朝日村役場の位置を定める条例及び朝日村防災行政無線施設条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第5号
○朝日村議会委員会条例及び課設置条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第6号
○朝日村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第7号
○朝日村企業立地の促進等による産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)

- ◆議案第8号
○朝日村子育て支援センター条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第9号
○朝日村放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第10号
○朝日村スポーツ施設設置条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第11号
○朝日村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第12号
○朝日村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第13号
○朝日村介護保険の条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)
- ◆議案第14号
○朝日村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)

◆議案第15号

○朝日村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに朝日村指定地域密着型サービスに係る介護予防のための効果的な支援に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)

◆議案第16号

○朝日村指定地域密着型サービスの事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)

◆議案第17号

○朝日村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)

◆議案第18号

○朝日村商工業振興条例の一部を改正する条例について
(全員賛成可決)

◆議案第19号

○朝日村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

◆議案第20号
(全員賛成可決)

○工事請負契約の変更について
(全員賛成可決)

◆議案第21号

○辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定について
(賛成多数可決)

この議案に対する質疑が行われた。

◆議案第22号

○長野県町村公平委員共同設置規約に変更について
(全員賛成可決)

◆議案第23号

○村道路線の認定について
(全員賛成可決)

◆議案第24号

○朝日村緑の体験館・屋外調理施設・緑のコロシアム・野保沢林間キャンプ場の指定管理者の指定について
(賛成多数可決)

この議案について質疑討論が行われた。

◆議案第25号

○平成29年度朝日村一般会計補正予算(第5号)について
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億4,859万円

を追加し歳入歳出の予算をそれぞれ48億7,536万円とする。
(賛成多数可決)

この議案に対して災害等急な財政出動に対応する一定規模の財政調整基金を確保するため、借入金の上償還金を削除、減額する内容の2件の修正案が提出されたが、2件とも賛成少数で否決された。

◆議案第26号

○平成29年度朝日村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
歳入歳出の総額から歳入歳出それぞれ160万円を追加して歳入歳出の予算を5億8,360万とする。
(全員賛成可決)

◆議案第27号

○平成29年度朝日村介護保険特別会計補正予算(第4号)について
歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億5,087万とする。

◆議案第28号

○平成29年度朝日村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ188万を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5,143万とする。
(全員賛成可決)

◆議案第29号

○平成29年度朝日村簡易水道特別会計補正予算(第2号)について
歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ9万を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5,087万とする。

◆議案第30号

○平成29年度朝日村下水道特別会計補正予算(第4号)について
歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,207万を減額し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億698万とする。
(全員賛成可決)

◆議案第31号

○平成29年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第2号)について
歳入歳出予算の総額に歳入歳

出それぞれ113万を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億446万とする。
(全員賛成可決)

◆議案第31号

○平成29年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第2号)について
歳入歳出予算の総額に歳入歳

出それぞれ4億698万とする。
(全員賛成可決)

出それぞれ304万を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,594万とする。
(全員賛成可決)

◆議案第32号

○平成30年度朝日村一般会計予算について
歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ2,857,200千円と定める。
(賛成多数可決)

この議案に対して村財政を考慮し、130周年記念事業の報償費や委託料を削除・減額及びゲストハウス整備事業費の削除等と内容とする3件の修正案が提出されたが、3件とも賛成少数で否決された。

◆議案第33号

○平成30年度朝日村国民健康保険特別会計予算について
歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ479,604千円と定める。
(全員賛成可決)

◆議案第34号

○平成30年度朝日村介護保険特別会計予算について
歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ511,900千円と定める。
(全員賛成可決)

◆議案第35号

○平成30年度朝日村後期高齢者医療特別会計予算について
歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ50,600千円と定める。
(全員賛成可決)

◆議案第36号

○平成30年度朝日村簡易水道特別会計予算について
歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ124,500千円と定める。
(全員賛成可決)

◆議案第37号

○平成30年度朝日村下水道特別会計予算について
歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ389,700千円と定める。
(全員賛成可決)

◆議案第38号

○平成30年度あさひプライムスキー場事業特別会計予算について
歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ31,850千円と定める。
(全員賛成可決)

◆追加付議事件

○発議第1号
○拙速な改憲発議に反対する意見書について
(全員賛成可決趣旨採択)

◆議員派遣について

次のとおり議員を派遣する。
(全議員)

○議会行政視察(長野県立歴史館)平成30年3月28日
○目的

開村130周年を迎える朝日村及び前身である山本村の明治期における村図等の原本を調査し、村政に資する。

◆閉会中の継続調査の申し出について

●事件

●議会運営委員会
①議会運営委員会の所管事務に関する事件

●総務産業常任委員会
②議長の諮問に関する事件

●社会文教常任委員会
①社会文教常任委員会の所管事務に関する事件

●期限
●次期定例会開催まで

総務産業常任委員会報告

3月定例会には、総務産業関係として1件の陳情がありました。

陳情第1号「憲法9条改定と「緊急事態」条項を含む改憲案の国会発議に反対する意見書提出に関する陳情」

委員会を3月9日に開催し、陳情者からの説明を受け、慎重に審査した結果、全会一致で「趣旨採択」となりました。審査の主な経過は、改憲案そのものが示されていない段階では内容の是非について審議を行うことはできませんが、改憲案の国会発議がされてからでは対応が遅くなってしまうことから、国会においては十分議論を尽くされ、拙速な改憲発議をされないよう意見書を送ることと致しました。

(総務産業委員長 小林弘幸)

議案と議決結果

○賛成 ●反対 一不参加（議長は議決に参加しない）

議案番号	議案の内容	審議結果	高橋 廣美	中村 賢郎	上條 俊策	齊藤 勝則	上條 昭三	北村 直樹	小林 弘幸	塩原 智恵美	林 邦宏	清沢 正毅
〈平成30年第1回朝日村議会臨時会〉												
1	財産の取得	可決	○	○	○	齋	○	○	○	●	○	—
〈平成30年朝日村議会3月定例会〉												
2	朝日村電気自動車等充電器の設置及び運用に関する条例の制定	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
3	朝日村指定住宅介護等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
4	朝日村役場の位置を定める条例及び朝日村防災行政無線施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
5	朝日村議会委員会条例及び課設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
6	朝日村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
7	朝日村企業立地の促進等による産業集積地区における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
8	朝日村子育て支援センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
9	朝日村放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
10	度朝日村スポーツ施設設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
11	朝日村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
12	朝日村国民健康保険条例の一部を改正するに関する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
13	朝日村介護保険の条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
14	朝日村指定地域密着型サービスの事業の人員設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
15	朝日村指定地域密着型サービスの事業の人員設備及び運営並びに朝日村指定地域密着型サービスに係る介護予防の為の効果的な支援に関する基準を定める条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
16	朝日村指定地域密着型サービスの事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
17	朝日村介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
18	朝日村商工業振興条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
19	朝日村商工業振興条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
20	工事請負契約の変更	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
21	辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定	可決	○	○	●			○	○	○	○	—
22	長野県町村幸平共同設置規約に変更	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
23	村道路線の認定	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
24	朝日村緑の体験館・屋外調理施設・緑のコロシアム・野俣沢林間キャンプ場の指定管理者の指定	可決	○	○	●			○	○	○	○	—
25	平成29年度朝日村一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	●			○	○	○	○	—
25	平成29年度朝日村一般会計補正予算（第5号）修正案（塩原智恵美）	否決	●	●	●			●	●	●	○	—
25	平成29年度朝日村一般会計補正予算（第5号）修正案（上條俊策）	否決	●	●	○			●	●	●	○	—
26	朝日村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
27	平成29年度朝日村介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
28	平成29年度朝日村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
29	平成29年度朝日村簡易水道特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
30	平成29年度朝日村下水道特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
31	平成29年度あさひプライムスキー場特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
32	平成30年度朝日村一般会計予算	可決	○	○	●			○	○	○	○	—
32	平成30年度朝日村一般会計予算（修正案）（上條俊策）	否決	●	●	○			●	●	●	○	—
33	平成31年度朝日村一般会計予算（修正案）（塩原智恵美）	否決	●	●	○			●	●	●	○	—
32	平成30年度朝日村一般会計予算（修正案）（林 邦宏）	否決	●	●	○			●	●	●	○	—
33	平成30年度朝日村国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
34	平成30年度朝日村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
35	平成30年度朝日村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
36	平成30年度朝日村簡易水道特別会計予算	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
37	平成30年度朝日村下水道特別会計予算	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
38	平成30年度あさひプライムスキー場特別会計予算	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
〈追加付議事件〉												
発議1	拙速な改憲発議に反対する意見書	採択	○	○	○			○	○	○	○	—

一般質問

ここが知りたい



〔総務課長〕

提案予算ですすめたい

財政状況・予算について

上條 俊策 議員

問 庁舎建設に大型投資をした今、財政調整基金と一般財源で6億5千万円強の繰上償還をするとしている。税収の落ちや国からの交付税等の減少も懸念される時、大型繰上償還は減額し、財政調整基金に10億円は確保するべきと考えるが答弁ください。

総務課長 財政調整基金は7億7千万円あり、緊急の際は保険福祉基金から繰替運用するので、問題はない。

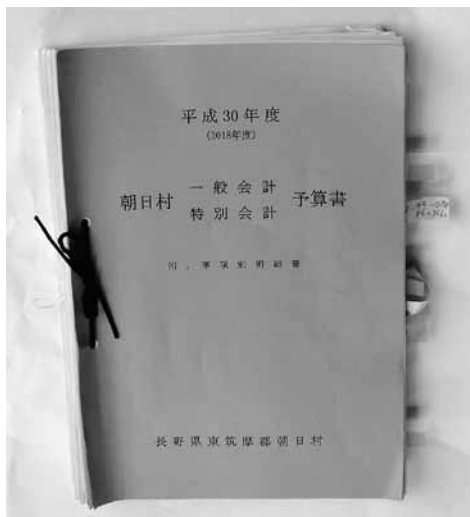
問 30年度予算に、ゲストハウス事業に5千3百万円を計上しているが、計画も十分でなく、地元の皆さんの賛同も十分得られていないと思うので、見送つたらどうか。

総務課長 移住人口増加のため必要と考える。

問 竣工式と130周年記念事業に4千4百60万円も掛ける予算であるが、双方の事業を

どうしても行うならば、別々にやらず、一回で行い、重複している中身を検討・節減するべきであり、住民の貴重なお金を村民の要望していることに使うべきとおもうが。

総務課長 2回行うのは、村外等からの招待客対象に竣工式を実施し、130周年記念事業は、村民対象であるので、1回にはできない。



(朝日村一般会計予算書綴り)



〔産業振興課長〕朝日村の松くい虫被害は

現在まで5地区5本で確認

松くい虫被害の朝日村の現状と今後の見通し予測は

上條 昭三 議員

問 新聞報道によると現在は全国最大の松くい虫被害地が松本地域であるということがあります。松本市では空中防除の計画があります。その松本市今井の赤坂からヤヨイ坂にかけての中に松くい虫被害が多く出ています。また、塩尻市では松くい虫被害対策の新たな取り組みとして、一定区域のアカマツを伐採して広葉樹に樹種転換することにより緩衝帯を設けて被害拡大を防ごうという計画がございいます。次に朝日村では合計何本の松くい虫被害木が確認されたのか、また朝日村での被害の見通し、予測についてお聞かせください。

答 今まで朝日村の松くい虫被害は5地区5本である、今後の見通しは気象条件などにより変わってくるので予測は難しい。

問 健康寿命とは健康上問題の無い状態で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを言い、平均寿命との差は10年前後あります。朝日村の健康寿命は男女何歳ぐらいかわかりましたら教えてください。厚生労働省で出している健康寿

命と同じデータが無いので比較できない。

問 開村130周年記念を冠とした企画の民間使用についての見解を聞きます。

答 開村130周年記念を冠とした企画の民間使用については、ふさわしい企画かどうか事前に申請を受け許可制としたい、今後要綱を制定する。



(赤坂架橋記念碑付近のくん蒸処理された松くい虫被害木、まだ未処理の被害木も残っている。)



インフルエンザ予防接種に対する補助金の支給について

北村 直樹 議員

「村長」補助金を出すことは吝かではないが、予防接種における副作用リスクを考えると現行支給は検討できず

問 今年インフルエンザが全国的に猛威を振った年であった。当村でも小学校に中学校がインフルエンザにより学級閉鎖となった。村内の子供達にインフルエンザ予防接種の補助金支給を検討できないか？

答 子供支援の一環で補助金を出すことは吝かではない。しかし、予防接種は副作用を招き方が一の場合、村で責任は負いかねない。

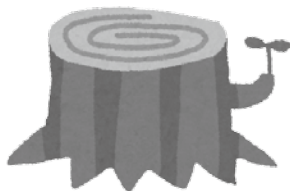


(インフルエンザ予防ワクチン)

カラ松を使った商品開発(石鹸・洗剤)の検討について

問 戦後より植林されたカラ松の有効活用として、カラ松を使った商品開発を検討推進し手ごたえを感じたら周辺地域や長野県に提案してみてもどうか。

答 県内市町村では二次製品の研究開発はされている実績がなく、当村では費用面から検証を行うことはできない。しかし、現在地方創生交付金による木質バイオマス自立循環事業を行う際に二次製品の推奨を行っていききたい。



通学路の交通安全対策は

小林 弘幸 議員

「教育次長」新一年生には学校からの指導とハザードマップを配る

問1 通学路の交通安全対策について

教育次長 朝日村通学路交通安全プログラムを基本方針として、通学路の交通安全対策箇所一覧表が作成され、9カ所の対応を始めている。指導・線の引き直し等は直ぐ対応し、予算のかかるものは検討中である。

●子供の目線でヒヤリ・ハット等の調査をして改善に活かしてほしい。

問2 小学生の英語力強化策について

教育長 平成32年から学習指導要領により、5・6年生で読む・書くが始まる。外国語指導助手(ALT)により、村民対象の英会話教室も考えたい。

●朝日流の他の自治体とは差別化された英語プログラムを作してほしい。

問3 ヘリポートの芝生化について

総務課長 ヘリポートは安全上から立入禁止で考えている。

●役場前の一等地でもあり、芝生の上で子供と親が遊べる憩いの場となる様なヘリポートを検討してほしい。



(ヘリポート予定地)



村の財政運営は健全か

塩原智恵美 議員

〔村長〕 経常収支比率が健全なため投資事業できる

問 村は過去5年間の積極的な投資事業（年平均10億円）の結果、財政の健全化を示す1つの指標である実質公債費比率（借金返済の負担割合）が県平均6を上回りH34には12.8に達する見通しになった。この数字は県下ワースト4を表し健全な財政運営と言えない状況となった。他の自治体は国の動きの中で新たな投資は控えて、代わりに現存する公共施設の維持管理や今後の防災減災対策事業へ大きく方針転換している。また人口減少による税収や地方交付税の減収などあらゆる事態へ備える財政運営をしており、これが借金を控える要因となっている。こうした中、村は向陽台道路やゲストハウスを整備する計画だが本当に必要なか。

村長 健全財政の指標は実質公債費比率以上に経常収支比率が大事。その数字は健全だから投資事業はやれる。今後税収や地方交付税が確実に減る中、投資事業は今やらないとできなくなる。

問 H29最終補正予算の6億5千万円の公債費繰上償還は、過去5年間の身の丈以上の投資事業が招いたもので、史上最大規模となったが、借金とは将来世代の負担の公平性があることから、健全な財政運営のためには繰上償還は実施す

べきでない。また自立計画からの15年間、村民はサービス低下を我慢してきた。この辺りで優先度の低い投資事業は中止して、喫緊の課題に取り組みなど村民に還元するべきでないか。

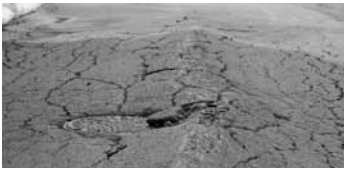
総務課長 繰上げ償還しないと今後の予算の中に占める公債費の割合が大きくなり他の事業を圧迫する。

問 H30予算は補正財源ない中、130年記念事業は4,466万円で、村民から控えるべきの声がある。

村長 村民の為に130年記念事業で今年限りのため実施する。

問 国が喫緊の課題として地方に求めているのは公共施設の長寿命化など適正な管理や減災防災事業である。村が現在取り組むべき優先度の高い仕事は新たな投資事業でなくこれまで村が築いてきた公共施設の維持管理や防火水槽の新設など防災対策と考えるが。

村長 向陽台道路は新興住宅の利便性を図るうえで極めて大事。ゲストハウスは御馬越地区の活性化のため必要。



（補修を待つ路面が割れた村道）



テレビ松本の株式取得について

林 邦宏 議員

〔村長〕 少額ならば出資しない方がよい

問 テレビ松本へ2万株・1,000万円を出資する予算案だが、テレビ松本に業務委託時、無償で機器類など2,890万円を現物譲渡し、年間約1,400万円の委託料を支払っている顧客である。テレビ松本の加入世帯は2市2村で63,503世帯、朝日村は1,110世帯で74%の加入率、テレビ松エリアでの村の加入率は1.7%、持ち株数は松本市5万株、塩尻市・山形村は各2万株です。これらを1世帯毎に当てはめると取得株数は1,442株、出資額721円と成り、当村に適応させると、取得株1,600株・出資額800,310円と成り、テレビ松未加入世帯26%の現状では、身の丈に合った出資金であるべきだ。後日の村長との懇談では、テレビ松社長との口約束、何の積算根拠のない数値は認められないことではできません。

村長 昭和63年村開局で親しまれてきた。平成23年のテレビ松移譲時から出資要請があったが村政運営が軌道に乗るまで待つてもらった。企業ベースにかたよらないよう発言の確



（質問で指摘した箇所）

保が必要であり、少数株主の発言は通用しない。

新庁舎の出来栄え評価は

問 村民から寄贈された古木の松磨き丸太は、無垢材の魅力、木肌の美しさは無数のひび割れで損なわれ、根張りも裾まで出されず途中で切断され素材の良さが生きていない。

村長 適期に伐採している。磨き丸太の根張りは見解の相違だ。



新役場庁舎付属の店舗の中身と進捗状況は

高橋 廣美 議員

〔総務課長〕

現在詰め段階でテナント業者と折衝中

問 新役場庁舎も完成間じかとなり、村民の期待は大きなものがある。問題は付属の店舗がどうなるか、こちらの期待のほうが大きいと言う村民もいる。村内からJA以外の店がなく、だいたい不便な思いをしている村民からすればもつともだと思ふ。店舗内外での展開をどう考えているか。

総務課長 現在テナント業者と詰めているが、今現在の段階では、取扱商品において、テナント業者の都合で、酒、たばこ、冷凍食品の取り扱いはない。地元産野菜の販売、イトインコーナーの設置を考えている。

健康村復活のための施策について
問 かつて村民の健康増進のため村をあげて「朝日村健康村建設活動」に取り組み大きな成果を挙げた。現在は「朝日村健康村推進協議会」として努力はしているがいまひとつインパクトに欠けないか。

健康づくり担当課長 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防のため特定検診の受信率をあげるなど地区



(新庁舎に付属する村民期待の店舗)

訪問を含めきめ細かな対応をしている。



平成30年度の行政の進み方について

中村 賢郎 議員

〔村長〕 持続可能な村づくり

問 平成30年度は村長始めとして、議会議員も四年の任期の最終年度にあたります。又、長年の課題であった役場庁舎も四月には竣工の予定となっておりあります。そこで、これからの行政の進み方についてお聞きします。

村長 先ず持続可能な村づくりを目指す。その中であつて、出生率が低いのが大きな問題で、小さな村では人口問題が優先される。先ず働く場所の確保・住民福祉の充実等の生活環境整備を行う。又、福祉ではきめ細やかな住民サービスを行う。

指定管理者の指定について
問 議案24号で提案された指定管理者の指定(今回の随意契約)についてと関連してプライムスキー場の現状についてお聞きした。

産業振興課長 先ず、平成35年については公募の予定。次に施設の状態は、スキー場を除いてはそれぞれ赤字の状況が続いている。今後も同様にスキー場を中心とした管理運営を行う。これからは観光協会との連携とコテージの利用率の検討を行いたい。



(完成間近の新庁舎)

平成29年度 第5回 村内4団体懇話会報告

1月11日毎年恒例となっている4団体懇話会がAYTマルチメディアセンターで開催された。議会・農業委員会、松本ハイランド農協朝日支所、商工会が、よりよい朝日村にするため持ち回りで年1回研修会を開いており今回は議会が当番だった。始めに各団体の現状把握のため、団体長から近況報告があり引き続き講演となった。講師は県立歴史館学芸部長の青木隆幸氏。演題は「伊那県から筑摩県そして長野県」。長野県誕生に至る秘話を興味深く聞くことができた。特に明治4年から9年まで存在していた筑摩県絵図（歴史館蔵）が示され、当時の筑摩県は中南信地域と飛騨地方まで合併した県であったことにより、青木先生は過去を偏見なく見つめることにより、今後は筑摩県のような未来志向の交流を考へるヒントがある…と絵図の重要性を独自の視点で語った。研修会ではこのほかに筑摩県当時の明治9年作成の山本村絵図（朝日村の前身・歴史館蔵）も配布され現在も存在する地名など発見し、今から142年前の村の姿に改めて思いを馳せた。青木先生は「この絵図は当時の村役人が地域と民の目線に立って、生活や社会を築いたことが伺える」と解説した。今年も開村130年でタイムリーな機会の講演であった。（塩原智恵美）



（山本村絵図）

小野沢区民との議会懇談会

平成30年2月3日、本郷集会所にて小野沢区民の皆様と議員懇談会を開催し、清沢議長より、村政全般の報告のあと、区民の皆様への質問・要望をお聞きしました。主な質問は、旧役場庁舎を文化財として残すという村の意向についてであり、今後残したとして、どんなメリットがあるのか、耐震工事にどれ位の費用をかけて残すのか、工事に補助金がついたとしても、その後の維持費・管理費も当然かかり、今頃どうするかということも言うのではありません。新庁舎建設を考へる時点で考え、予算もみておくべきと考へるが、いまだどれ位の費用が必要かも、一切わかっていない。壊して出来ることなら、子どもやお年寄りの集まれる広場とし、緊急の場合の避難場所や、イベント広場として使用したい。等々の意見が多く、残すことには、反対という方向が強く感じられた。（上條俊策）

針尾区懇談会報告

去る1月13日、針尾区長をはじめ区民の皆様と議会とで懇談会を実施致しました。議長より直近の村政報告を行ったあと、針尾区の課題提起を受けました。区内の鳥獣防護柵の除草対応人員と除草剤費用の現状と課題、土砂災害等の災害時の区民及びやえべやかたくり入居者（スタッフ含め）の避難経路の見直し、針尾区内の水路管理について等、様々な課題提起を受けました。今回頂いた課題について今後行政と対策を練って課題解消に向けて活動してまいります。（北村直樹）



（針尾集落センター）

入二区の皆様との懇談会

去る1月20日、御馬越公会所で齊藤悦雄区長と7名の区民の皆様と、議員4名参加での懇談会が開かれました。議会から村の現状報告や区に係わる事項が議長から説明された後、意見交換となりました。前回24年11月の懇談会での野俣沢取水箇所に係わる議会の対応は好評でした。

●ゲストハウスの建設予定地は最近の気象状況下での安全確保には不安が残る。●観光協会が計画している滞在型体験プログラムは行政から地区民に説明がなく、理解されていない、丁寧な説明を早期に実施した方がよい。●地区民が行政に望んでいる内容は日々の生活に沿った事業で、箱もの事業ではない、緑の体験館や10棟のコテージの二の舞、三の舞にならぬよう見直しが必要である、高額の費用を掛けたコテージは村民に親しまれ、利用し易い管理体制で、利用率の向上を図る手立てをしないのか指定管理者任せで良いのか。これらの、要望・課題事項は機会あるごとに、情報発信して少しでも地区民の付託に沿えるよう努力しなければと思った懇談会でした。（林 邦宏）



（御馬越公会所）

議会行政視察

三月定例議会終了後行政視察を行った。今回は、新役場庁舎、針尾加工所、上組鳥獣被害防止柵緩衝帯整備箇所、県道中組バイパスの四箇所で行った。新役場庁舎については、すでに庁舎内は完成し、正面の象徴木はじめ村産材をふんだんに使った圧巻の出来映えで村民の期待に答えられないのではないかと感じた。針尾加工所については、以前特産品の会からぶどうの生産者のグループに指定管理が移り、新しいジュース充填機と



（上組の鳥獣柵緩衝帯）

うが完備され事業がスタートできる体制が整っていた。上組の緩衝帯は鳥獣柵から五メートルから十メートルの間隔で伐採されておりサル被害防止が期待できそうに思われる。中組バイパスにおいては、用地買収もほぼ終わり一部着工となり平成32年度完成に向けて着々と進められている模様であった。（高橋廣美）

村民の 声

区長の拝命に当たって

開村百三十周年、牙城たる朝日村役場の竣工と言う佳節を迎えての本年、先輩の方々に推され、区長という重責を引き受けることになりました。

定住して二十三年、美しく逞しい自然に囲まれ澄んだ高地での生活にも慣れ、様々なボランティアや福祉施設での、ご高齢者とのふれ合い、音楽や絵画そして短歌などを通じて学び豊かな心になりました。

培って来た様々な体験をこれからも生かし、区民の皆様と情報を共有し、災害に強い安全で安心の区にしていければと考えております。

吾が事丸ごと“向こう三軒両隣”を合い言葉に、仲良く生活していきましょう。

地区長の皆さん、それぞれの役職の皆さん、更に村議会や民生委員の皆様方が、西洗馬区を見守っていただいていることに、衷心より感謝申し上げます。

これをもちまして、就任の挨拶とさせていただきます。

西洗馬区長 鈴木正臣



鈴木正臣氏

編集後記

鉢盛山はまだ雪景色、古見原では野菜農家がレタス等の植え付けを始めた。一見何の変哲もない例年の景色か。いや今年はずいぶん、百年の計である新役場庁舎の完成である。新学期が始まり、期待に胸を膨らみます学生、またその御家族もいるこの時期です。村の多くの皆さんが、同じような思いで新役場に期待をし、見守っています。

(高橋 廣美)

発行責任者
編集委員

委員 長	中村 清
副委員 長	北村 賢
委員	高橋 直
委員	上條 樹
委員	齊藤 廣
委員	林 勝
委員	邦宏 則
委員	廣美 策
委員	直樹 郎
委員	賢郎 毅

写真担当

林

齊藤

上條

高橋

北村

中村

清

毅

邦宏

勝則

廣美

直樹

賢郎

毅

議会活動日誌

1月		活動内容
1	祝	安全祈願祭
4	木	新年祝賀会
7	日	出初式
9	火	開村130周年記念式典企画推進委員会 松本ハイランド農協新年祝賀会
10	水	議会全員協議会
11	木	四団体懇話会
12	金	東筑摩郡村長会議議長会新年会
13	土	針尾区との懇談会
15	日	地域公共交通協議会
20	土	入二区との懇談会
22	日	松本広域連合議会行政視察
25	木	例月出納検査 随時監査
26	金	アグリビジネス講演会
30	火	生活支援協議会会議
31	水	町村議会正副議長・正副常任委員長研修会 議会だより発行日
2月		活動内容
2	金	松塩地区広域施設組合議運
3	土	差別をなくし人権を擁護する推進協議会 議会・小野沢区懇談会
5	日	臨時議会／鉢盛中学校組合議会本会議
8	木	議会全員協議会検討会
11	日	三区生産森林組合総会
13	火	松本広域連合議会2月定例会
14	水	議会全員協議会 出前村政
16	金	松塩地区広域施設組合議会2月定例会
18	日	西洗馬生産森林組合総会
19	日	健康村推進協議会 議会全員協議会(理事者懇談会)
20	火	松塩地区木曾老人福祉施設組合議会2月定例会・全協
21	水	障害者福祉計画推進委員会 地域材利用を考えるシンポジウム
22	木	議会運営委員会 東筑摩郡議長会総会
23	金	町村議長会第26回定期総会・情報交換会
26	日	木質資源循環利用検討委員会 北陸新幹線新駅誘致期成同盟会総会
27	火	例月出納検査 商工業振興審議会
3月		活動内容
2	金	村議会3月定例会本会議・全員協議会
5	日	村議会3月定例会全員協議会
6	火	全員協議会予備日
8	木	一般質問通告日
9	金	村議会常任委員会
10	土	随時監査(消防団)
12	日	社協監査
14	水	中学校卒業式
15	木	小学校卒業式
16	金	村議会3月定例会本会議一般質問
20	火	村議会3月定例会本会議・全協 行政視察 懇談会
22	木	松塩地区広域施設組合第2回環境保全協議会 東筑議長会事務局引継会
23	金	保育園卒園式／例月出納検査 随時監査
26	日	土地開発公社理事会 防災会議
28	水	行政視察／農振協議会 農業委員会との懇談会